

理事長挨拶

学校法人 加計学園
理事長・総長 加計 晃太郎



文部科学省は、令和2年度の新たな事業として、今後の社会や学術の新たな変化や展開に対して柔軟に対応しうる能力を有する幅広い教養と深い専門性を持った人材育成を実現することを目的とした、「知識集約型社会を支える人材育成事業」と地域の知の拠点としての大学が、他の大学等や地方公共団体、地域の企業等と協働し、地域が求める人材を育成するための教育改革を実行するとともに、就職先と一体となった教育プログラムを構築することを目的とした、「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業」を実施します。

本学園としましても、各設置校においてこれらの対応を進めて行くべく準備を開始しなければなりません。

そのために、岡山理科大学では、今後の学術の新たな変化や展開に対応するため、受験生にとってわかりやすい学部・学科、時代の趨勢にあった分野の学部・学科を拡充、新設するという方針の基「学部・学科の改組」を計画しています。

倉敷芸術科学大学では、地域プラットフォームでの共同研究や、人材相互交流を推進するとともに、地域住民及び地域社会との交流を推進します。

千葉科学大学では、地域社会が求める教育、社会人が受講しやすいe-ラーニング形式での動物看護師を対象とした履修証明プログラムや新たな教育プログラムとして非臨床安全性評価人材養成プログラムを実施します。

また、岡山理科大学附属中学校・高等学校ではIB教育を推進することで、グローバル社会に対応できる人材を養成し、専門学校では、社会のニーズを把握し、即戦力となる人材の育成に取り組みます。

本学園は、私立学校として建学の理念の実現を目指し、独自の人材育成に向けて更なる邁進を果たして参りたいと思っております。また、改正私立学校法施行に伴い、本学事業報告、事業計画の様式を改め、本学園の財務状況を分析し本学園の抱える課題や改善方策について社会に公開するとともに、今年度中に本学園のガバナンスコードを策定し、学園ホームページにおいて公開するなど、法人運営の透明性を高める取り組みを行います。